

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより

NO. 24

R4. 7.13

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

(文責:校長 菅家 篤)

授業をつくる

~教師も「なかまとじぶん」で、チームワークよくがんばっています!~

磐梯一小では、「ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~」を合言葉に教育活動に取り組んでいます。今月に入り、「進んでのはっぴょうできる子どもの育成」を目指した授業をつくるための共同研究が本格的に動き出しました。

昨日は、研修主任(3学年担任)の星友美子先生による提案授業が行われ、授業づくりの第一歩を踏み出しました。次の二つの視点を大切にしたい授業でした。

〈視点1〉 自分の考えを持つ力を育てる

〈視点2〉 友だちの考えを自分の考えと比べながら聞き、受け止める力を育てる

授業では、「よい話し合いの様子」の動画(なんと、先生方の自作! 出演:渡部教頭先生、山口先生、佐瀬先生、目黒先生、ナレーション:穴澤先生)を視聴し、話し合いのイメージを持たせました。その後、子どもたちは、家庭学習で考えてきた自分の考えを、付箋紙を活用してグループで積極的に伝え合いました。授業の様子を写真で紹介します。



親の目の前にいるだけで百点満点の親孝行

~ 幸せ気分でするしつけ(おまけのつぶやき) ~

そもそも子どもというのは、そこにいて、親の目の前にいるだけで百点満点の親孝行をしているんだと、私は思います。でも往々にして私たち親は、「もっと勉強ができる子になってほしい」、「言うことをよく聞く素直な子になってほしい」など、子どもに百点以上の満足を求めようとします。でも本当は、**子どもがそこにいて幸せな存在なんだ、それだけでいいんだ**ということ、私たち親は、たまに思い出さなくてはならないと思うのです。

子どもに対する親の要求が、あまりに高いものだったり、厳しく求めすぎたりすると、子どもにとって、大変キツくなるのではないかと思います。子どもへの期待が大きすぎると、子どもを窮屈にすることがあります。ひたすら親に褒められるタイプの「良い子」を目指すのは、とても大変なことです。

子どもにとって大事なものは、たとえ親の「期待」には応えられなかったとしても、親の「信頼」だけは、裏切らないことだと思います。様々な信頼がありますが、親の子どもへの信頼の一番根っこにある大きなものは、「昨日までがそうだったように、今日もこの子は元気である」そのことなのだと思うのです。我が子が元気でいたら、それでも、親の信頼に答えていることになるのではないかと思います。高学年の子どもたちは、これから本格的な思春期に入っていきます。なかなか親の期待通りにいかない時期に入っていきます。さあ皆さん、覚悟はいいですか? 三人の娘と一人の息子を持つ私は、毎日が悪戦苦闘の子育てでした。